



# 第14回 ユネスコ記念能

異流競演  
女流競演  
「同一曲目」による各流立合公演

日時 平成29年10月6日(金)  
開演18時45分(開場18時)

会場 国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

主催 公益社団法人能楽協会

【日英二ヶ国字幕詞章付】

助成:文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)



助成:アーツカウンシル東京  
(公益財団法人東京都歴史文化財団)

企画:高野「後若」国立能楽堂所蔵

日時/平成29年10月6日(金) 開演18時45分(開場18時)  
会場/国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

入場料金 (全席指定)	◆S席.....6,000円
	◆A席.....5,000円
	◆B席.....4,000円

※本会取付本会独自の法により、別途手数料がかかる場合がございます。  
※席口番号は「H」から「F」まで記されています。席口番号は「H」から「F」まで記されています。

切符取扱	平成29年6月9日(金) 午前10時より発売開始
	◇国立能楽堂 窓口販売のみ
	◇チケットスペース 03-3234-9999(市人対応)
	◇カンフェティ★ 0120-240-540(市人対応) 【平日 10:00-18:00】
	◇チケットひあ★ 0570-02-9999 【Pコード 459-205】 びあ各店舗 オーケラ・サンクス/セブンイレブン ★印:ネット販売あり

《前売りチケット販売期間》6月9日(金)~10月2日(月)

※チケットスペースのみの販売となります。  
※「記名済みのチケット」の購入については2日券となります。但し、販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了してしまふ場合がございます。

【特別チケットのご案内】もっと身近に能楽を楽しんでほしい!そんな思いから2つの割引制度を導入。

**能みたい券**

能「葵上」のみご鑑賞頂ける  
チケットです。

(前売)2,500円 / (当日)3,000円

19:40頃(休憩中)よりご案内。お仕事帰りの方にもおすすめ!  
能楽未経験の方(=能楽が観たい方)にご集合下さい!

前売券は6月1日(火)より、「ひあ」[チケットスペース]にて販売致します。  
当日券は残席がある場合のみ、会場にて販売致します。  
お席はB席となります。

**500円・キャッシュバック**

当日会場にて、以下の方々へ  
お一人様 500円をキャッシュバック致します。

- ◇Foreigner割.....外国人(外国籍を有する方)
- ◇ティーチャー割.....教員(在職の小~高校教員)
- ◇ティーンズ割.....10代の方

当日、上記が確認できる証明書等をご持参下さい。受付は、会場入口付近となります。  
キャッシュバックは、当日会場に来られた方に限りです。  
証明書等をお持ちにならなかった方へは、キャッシュバックに致しません。  
チケット1枚(他割付券併用)につき、500円をキャッシュバック致します。

**案内図**

国立能楽堂  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1  
TEL 03-3423-1331

**交通**

最寄り駅:有明線「千駄ヶ谷駅」、有明線有明  
有明線千駄ヶ谷駅下車「国立能楽堂」徒歩5分  
有明線千駄ヶ谷駅下車「北側出口」徒歩7分  
※有明線千駄ヶ谷駅は、有明線千駄ヶ谷駅西口より徒歩5分です。

※上乗中の有明線千駄ヶ谷駅は、有明線千駄ヶ谷駅西口より徒歩5分です。  
※有明線千駄ヶ谷駅は、有明線千駄ヶ谷駅西口より徒歩5分です。  
※有明線千駄ヶ谷駅は、有明線千駄ヶ谷駅西口より徒歩5分です。  
※有明線千駄ヶ谷駅は、有明線千駄ヶ谷駅西口より徒歩5分です。

**座席表**

主催・問合せ:公益社団法人能楽協会  
TEL 03-5925-3871  
<http://www.nohgaku.or.jp/>

協力:独立行政法人 日本芸術文化振興会  
能楽協会では、チケットの取寄を致しておりません。上記取扱所にてお求め下さい。よりお願ひ申し上げます。

《能楽フェスティバル2017-2020》関連事業  
未来への能楽普及振興を目指し、1964年開催の「オリンピック能楽祭」を再び!





# 第十四回 ユネスコ記念能

能楽は六五〇年余りの間、時代時代の役者によって守られ磨かれてきました。そして平成十三年、ユネスコにおいて、第一回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受けました。この貴重な財産を後世に伝える為に本公演を開催し、この度十四回目を迎えます。

今回は、シテ方五流の女流能楽師による立合公演という新企画。今後の躍進が期待される若手能楽師を主な出演者とし、流儀の違いを楽しむことができる同一曲目での立合形式で上演致します。

文化の祭典でもある東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック大会に向けて、能楽協会としても各種文化事業に積極的に取り組んでおります。その一環である本公演において、能楽の奥深さ、日本文化の多様性の一端を感じて頂けますと幸いです。新しい企画のユネスコ記念能を是非お楽しみ下さい。

## 番組

(開演 一八時四十五分)

解説 観世 喜正

仕舞 (金春流)

## 枕ノ段

柏崎真由子

地謡

本口 布由樹  
本口 光洋  
吉場 廣明  
政木 哲司

仕舞 (金剛流)

## 葵上

羽多野良子

地謡

田村 幸稔  
廣田 道一  
種田 寛

仕舞 (宝生流)

## 葵上

土屋 周子

地謡

水上 優  
前田 晴啓  
金井 雄資  
金森 良亮

仕舞 (真多流)

## 葵上

大島 衣恵

地謡

大島 輝久  
中村 邦生  
大村 定  
内田 成信

狂言 (和泉流)

## 因幡堂

深田 博治

アド 中村 修一

後元月崎 晴夫

(十九時二十分頃)

能 (観世流)

(二十時頃)

ツレ 多久島法子  
シテ 鷗澤 光

## 葵上

ツケ 則久 英志

大鼓 安福 光雄

太鼓 樺谷 英樹

ツケツレ 御厨 誠吾

大鼓 大山 容子

太鼓 八反田 智子

後片 谷本 健吾  
武田 尚浩

地謡

観世 淳夫 遠田 修  
佐久間 二郎 藤波 重彦  
永島 充 観世 鏡之丞  
馬野 正基 観世 喜正

附祝言

(終演予定 二十一時頃)

## 主な出演者



シテ方金春流 柏崎真由子



シテ方金剛流 羽多野良子



シテ方宝生流 土屋周子



シテ方真多流 大島衣恵



シテ方和泉流 鷗澤光



シテ方観世流 多久島法子

## 上演形式の説明

【仕舞】しまい

能一曲の特定部分を地謡に合わせて一人ないし複数人で舞う。※特別な場合を除き、紋付、袴で演じられる。

【立合】たちあひ

流儀や芸風の異なる演者が競演すること。能楽創成期より行われ、芸を競い合い磨く機会であった。

【因幡堂】いなばどう

大酒飲み(妻)の愛想をつかした夫(シテ)は、妻の留守中に解縁杖を送りつけ、新しい妻を得ようと因幡堂に参り夜通し願掛けをする。そこへ腹を立てた妻がやってきて、うたた寝している夫に「西門に立っている女を妻とせよ」と囁く。目を覚ました夫は葉師如来のお告げと思い込み、喜んで西門へ行くと、被衣(かすぎ)をかぶって願を願った女が立っている。男は家に連れ帰り、祝言の巫事になると、女は何杯も酒を飲み干して一向に顔も見せない。業を煮やした夫が、無理やり被衣を取ると……

京都にある因幡堂は、日本三如来の一つである葉師如来を本尊とし、広く庶民の信仰を集めた。狂言「鬼瓦」「仏師」「六地藏」にも登場する。

【葵上】あおいのうえ

光源氏の正妻・葵上は、物の怪に憑かれて病に臥せている。葵上の病因を探るため、照日の平女ツレが符弓(あずきゆみ)の音で壺を呼ぶと、破れ車に乗った六条御息所(ろくじょうのみやすどころ・シテ)の生霊が現れる。元皇太子妃である御息所は、夫に先立たれた後に光源氏と親しくなるが、次第に疎遠になってしまふ。そして、葵上を恨めしいと語るうちに嫉妬の炎は燃え盛り、葵上の枕元に迫って打ちたたき、連れ去ろうとする。葵上の容態の急変に横川小聖(よかわのこびじり・フキ)が呼ばれ、祈禱が行われる。そこに、奥女となった六条御息所の怨霊が現れて小聖に襲いかかるが、祈り伏せられついに成仏するのであった。

葵上は客場せず、舞台上に置かれた「出小袖(だしこまて)」で象徴する。高貴な女性の恋愛と嫉妬が主題となるため、後半の嫉妬に狂った鬼女の姿にもどこか気品が感じられる作品で、優美な女性の複雑な心情の変化が見どころ。

仕舞では葵上の枕元で嫉妬に駆られた御息所が、恨み心を謡と舞で表した場面を演じる。流儀により、「枕ノ段」とも表記する。



「因幡堂」 撮影：志賀智



「葵上」 撮影：羽澤茂